

「日中関係と民間交流の新たな扉を開く」

— 日中国交正常化45周年によせて —

今年の日中国交正常化45周年の節目の年にあたります。日中両国で様々な記念行事が開催されています。

この度、中国社会科学院で長年日本を研究してこられた胡澎先生をお迎えしお話を伺う機会を得、講演会開催を企画しました。先生から次のような言葉が届いています。「今年の日中国交正常化45周年です。自分の経験から、日中関係45周年の歴史を振り返ってみて、そして日中関係の原点、日中民間交流の役割をどのように認識するか、また学者として、日中関係が改善に向かうにはどうすれば良いか、そして日中関係の未来をどう進めるか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います」。記念すべき年にふさわしい絶好の機会、多数のご来場をお待ちしています。

日時 2017年11月18日(土) 午後2時

会場 芦屋市民センター203号室

芦屋市業平町8番24号 ☎0797-31-4995

講師 胡 澎 先生

(中国社会科学院日本研究所日本社会研究室長、
中国社会科学院大学教授)



胡澎先生略歴

1966年生まれ
1988年、首都師範大学中国言語文学部卒業
1997年、富山大学大学院人文化学研究科修了
1997年、中国社会科学院日本研究所助理研究員
2004年、北京大学歴史学博士号取得
2010年、中国社会科学院日本研究所研究員



阪神「芦屋駅」を北へ徒歩約8分、
JR「芦屋駅」南を西へ徒歩約6分、
阪急「芦屋川駅」を南へ徒歩約7分

主催 日本中国友好協会関西ブロック

連絡先：兵庫県連 ☎078-412-2228 大阪府連 ☎06-6372-8131 京都府連 ☎075-256-2764

第4回中国百科検定は、2018年3月21日(水祝)に実施されます。

今回からは従来の3級、2級、1級の試験に加え、その上に「特級」を設置することとなりましたが、その詳細の詰めを行ない、以下の内容とすることが試験実施委員会で確認されました。

- (1)特級は「地理」、「政治経済」、「歴史」、「文化・芸術・風俗習慣」の4分野のどれか1つを事前に選んで受験いただく。
- (2)出題は40問で、筆記式の回答を求める。合格ラインは1級と同じく80%とする。
- (3)すでに1級に合格していることを受験の条件とする。
- (4)受験料は1級と同様とし、一般5,200円、学生4,000円とする。
- (5)正式名称は「特級(マスターコース)」とする。

「百科検定」とは、『中国百科検定』は「日中両国の関係改善のためには、まず相手国への理解を深めることが大切」との強い思いから誕生しました。中国語の能力ではなく、中国の歴史・地理・政治経済・文化等、多方面の知識を問う、日本でも極めてユニークな検定試験です。

2014年3月、東京・大阪・福岡の3会場で第1回が開催され、366人が3級(ものしりコース)を受験。第2回は昨年9月に開催され、会場を全国各地(32カ所)に広げ、2級(中国通コース)を新設、受験者は474人まで増えました。

第3回では1級(百科老師コース)を新設し、これで全3コースがそろうとともに、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が後援に加わりました。さらに、中国国家観光局と中国日本友好協会が春秋航空とともに協賛に入り、成績優秀者に対して招待旅行や往復航空券などの副賞を提供していただくことになりました。これは”草の根運動”としての当検定の意義が認められた結果とも言えます。

なお、「百科検定」につきましては、大阪府連のホームページの「中国百科検定」のサイト <http://www.jcfaosaka.org/hyakkakentei.html> をご覧ください。

第3回試験の成績優秀者の学生2名が招待訪中

第3回試験の成績優秀者表彰の中で、日中友好協会と中日友好協会の共同による中国招待旅行が学生2名に贈られました。8月23日午後の羽田空港で、めでたく受賞された神奈川県の前田敦志さん(大学生)と福岡県の前田葉菜さん(高校生)の中国旅行の見送りを田中義教理事長以下、協会役員・事務局で行いました。

27日の帰国の際にも出迎えを事務局で行いましたが、2人とも初めての中国旅行で、盧溝橋や天津の戦争遺跡なども訪問し、若くて新鮮な感覚で中国という国に接することができたと語っていました。将来の友好交流の架け橋となってほしいとの思いを強くしています。